allcinema

見知らぬ乗客（1951）

STRANGERS ON A TRAIN

メディア 映画
ジャンル サスペンス
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 101分
初公開日 1953/05/09
公開情報 ＷＢ

【解説】

言葉を失うくらいの映像魔術に陶然とする、テーマ的にも手法的にもヒッチコックの絶頂を示すスリラーの傑作。開巻の視覚的な、二人の男の“接近遭遇”を示すショットの連なりからして、大胆で素晴らしい効果をあげている。「太陽がいっぱい」のＰ・ハイスミス原作の同性愛的ムードを底辺に漂わせ、ひたすら強烈な状況設定の鎖として映画を見せていくヒッチ演出。列車の中で、テニス選手のガイ（グレンジャー）は見知らぬ男に声をかけられる。その男ブルーノ（ウォーカー）は、ガイが悪妻ミリアム（エリオット）と別れたがって果たせないでいるのを知っていた。そして、一方的に、口うるさい自分の父との交換殺人を持ちかけ、勝手に計画を実行に移してしまう。ガイは国会議員モートンの娘アン（ローマン）と一緒になりたいと思っていた。確かに動機は存在するのだ。そして、ブルーノは列車内でくすねた彼のライターを“物証”として握っている。アリバイも怪しげで、ブルーノの脅迫にビクついていたガイはいよいよ警察に不信の目でみられるが……。有名な遊園地を舞台にした二つの殺害現場をクライマックスや、全員が首を左右に振って見入るテニスの試合でただブルーノの首だけが動かずガイを見つめている、といった何気ないショットの計算の確かさにも目をみはらされる。脚色家の筆頭に作家チャンドラーの名がみえるが、実際の所、何もしないに等しかったそうである。ＤＶＤはラスト・シーンの処理が異なるイギリス版を同時収録した「特別版」となっている。

【クレジット】

監督	アルフレッド・ヒッチコック	Alfred Hitchcock
原作	パトリシア・ハイスミス	Patricia Highsmith
脚本	レイモンド・チャンドラー	Raymond Chandler
	チェンツイ・オルモンド	Czenzi Ormonde
撮影	ロバート・バークス	Robert Burks
音楽	ディミトリ・ティオムキン	Dimitri Tiomkin
出演	ファーリー・グレンジャー	Farley Granger
	ロバート・ウォーカー	Robert Walker
	ルース・ローマン	Ruth Roman
	レオ・Ｇ・キャロル	Leo G. Carroll
	パトリシア・ヒッチコック	Patricia Hitchcock
	ローラ・エリオット	Laura Elliot
	マリオン・ローン	Marion Lorne
	ジョナサン・ヘイル	Jonathan Hale

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.